

◇観光学研究科 2026年度担当教員一覧◇

2025年10月現在

担当教員	研究指導領域	研究指導の要点	備考
東 徹 教授	観光マーケティングの研究	マーケティングの視点から、観光、サービス、地域振興に関する研究を指導する。	
韓 志昊 教授	ホスピタリティ・ビジネス研究	ホスピタリティの概念分析を始め、ホスピタリティ・ビジネスに関わる諸問題の研究を指導する。	2026年度秋学期研究休暇
羽生 冬佳 教授	観光地域計画研究	観光地域づくりに関し、魅力要素の確立や空間の変化と観光行動との関わりについて研究を指導する。	2025年度研究休暇
橋本 俊哉 教授	観光行動研究	観光レクリエーション場面での行動特性に関する研究を指導する。	
石橋 正孝 准教授	観光文学研究	観光地のイメージの形成および変容のメカニズムについて、主にテキスト分析と地域文化研究の手法に基づいて研究指導を行う。	
門田 岳久 教授	文化人類学・民俗学	開発・移動・宗教等、社会-文化現象に関する文化人類学・民俗学的研究、及びエスノグラフィーの方法に基づく研究課題全般の指導を行う。	
川嶋 久美子 准教授	移動・観光現象の社会学的研究	質的調査法を用いた人の移動や観光に関する研究を社会学的な観点から指導する。	
毛谷村 英治 教授	観光施設研究	施設の空間構成や地域における役割について分析し研究する指導を行うとともに、具体的な空間演出方法についての研究を指導する。	
久保 忠行 教授	越境・観光文化の人類学的研究	人類学的な視点から越境と観光文化の生成・変容に関する研究を指導する。	
舩谷 鋭 教授	観光文化と文学研究	観光文学を中心に、東南アジアの華僑華人など、交流文化について研究指導する。	2025年度秋学期長期海外出張
松村 公明 教授	観光地域変容研究	観光客流動からみた拠点都市と都市空間の変容に関する地理学的研究を指導する。	2026年度春学期研究休暇
西川 亮 准教授	観光まちづくり、観光・都市政策研究	観光をめぐる地域の関わり(観光政策/都市計画・まちづくり・産業振興)についての研究指導を行う。	
野原 克仁 教授	自然環境と観光に係る経済学的研究	地域自然環境の保全という視点から、観光と経済学の関わりについての実証的な研究を指導する。	
小野 良平 教授	風景・景観保全論研究	観光地を始めとする地域の風景・景観の価値評価、保全計画にかかわる研究を指導する。	
大橋 健一 教授	観光文化論研究	文化現象としての観光に関し、文化動態論の観点から研究を指導する。	
佐藤 大祐 教授	観光地理学研究	観光レクリエーションにみられる地域性のほか、スポーツ・ツーリズムやスマート・ツーリズムなどについての地理学的な研究を指導する。	
干住 一 教授	観光の歴史学的研究	観光およびその関連事象の変遷過程について、歴史学(特に近代史)の観点から研究指導を行う。	2026年度春学期研究休暇
高岡 文章 教授	観光社会学研究	観光という行為と現象について、社会学の観点から研究指導を行う。	2025年度秋学期研究休暇
杜 国慶 教授	都市観光と観光地理学研究	地理情報科学(GIS)を利用して、スマート・ツーリズムなど観光事象の研究を指導する。	2026年度秋学期、 2027年度春学期長期海外出張

※研究休暇、長期海外出張期間中は研究指導を担当できないことがあります。